地域活性化に貢献

ＪＴＢグループの各種事業

ＪＴＢグループは、地域の企業、団体、自治体に向けて、観光や交流にかかわるソリューション事業や出版・広告事業などを展開している。観光プロモーションの支援、会議や展示会の企画運営、特産品の販売促進などを通じて、地域が抱える課題の解決をサポートし、地域活性化への貢献を目指す。各社の事業事例を紹介する。

ＪＴＢパブリッシング
「るるぶ」で地域をＰＲ

ＪＴＢパブリッシングは、「るるぶ」をはじめとする出版物の発行などを通じて、地域の観光交流や交流文化事業の拡大を底支えしている。観光振興を目指す地域にとって情報発信は重要課題。ソリューション事業本部の中川貴弘さんに地方自治体向けのＰＲ支援策などを紹介してもらった。

□　□

魅力的なコンテンツがあるにもかかわらず、ＰＲに課題を抱えている自治体が多い。着地でのリピーター創出のための情報発信は可能でも、発地での新規客創出のための情報発信はハードルが高いという話をよく耳にする。テレビや全国紙などに取り上げてもらうのは簡単ではない。

中川 貴弘さん

そうした課題の解決に向けて、「るるぶ」のブランドやノウハウを生かし、地域の魅力発掘、情報発信を支援する事業を展開している。「観光パンフレットなどを『るるぶ』特別編集版として制作しませんか」という提案がその一例だ。自治体に対しては、16～36ページ程度のフリーペーパー型冊子の制作を提案している。09年度の群馬県前橋市を皮切りに、県や市町の単位でこれまでに約20の自治体で制作の実績がある。

「るるぶ」の特別編集版

単に冊子の制作だけでなく、旅行情報サイト「るるぶ・ｃｏｍ」や定期購読誌「ノジュール」などを組み合わせたクロスメディアの情報発信を行うことで、より多くの効果が期待できる。また、ＪＴＢグループの強みを生かし、冊子をＪＴＢの店舗に設置してお客さまを地域に誘導するほか、周辺を含めた地域一帯のＪＴＢ契約旅館・ホテルに冊子を設置することで到着した旅行者に対する情報発信を行う。

さらに冊子の内容と連動した発地型の旅行ツアーや着地型の観光プランなどをＪＴＢの地域旅行事業会社と連携しながら売り出すという試みを始めた。携帯電話のＧＰＳ機能を活用し、観光地の周遊を促進するモバイルスタンプラリーのサービスも提供している。

冊子制作により観光施設に加え、伝統工芸品、農業・漁業資源などもＰＲすることができる。１次・２次産業の振興や交流人口、定住人口の拡大にも貢献していく。

ＪＴＢコミュニケーションズ
官民一体で集客力創出へ

交流や集客に関するマーケティング、イベントなど多様なコミュニケーションサービスを提供するＪＴＢコミュニケーションズ。人を集めることこそが地域活性化、特に観光業界にとっては最大のポイントだ。その成功事例の1つをギャザリングマネジメント局プロデューサーの松村成史さんに紹介してもらった。

□　□

茨城空港で昨年3月3日、韓国の人気俳優、チャン・グンソクさん、キム・ハヌルさんらが出席し、茨城県内各地でロケを行う韓国映画の制作発表会が行われた。首都圏を中心に各地から観光バス約80台、ファンら約3500人が空港のイベント会場に詰め掛けた。空港の臨時駐車場内には、県内の民間企業の協力で物産・飲食ブースなどが出店され、茨城県の特産品や地元グルメの販売が行われた。

映画制作発表会の会場

松村 成史さん

俳優が目当てだった参加者だが、「初めて茨城に来た。また来たい」「茨城の土産をたくさん買って帰りたい」などの声が聞かれ、地域のＰＲや物産販売などに好結果を生んだ。特に100社を超えるマスコミがイベントを取り上げた効果は、宣伝費に換算できないほどで、開港間もない茨城空港の認知拡大や利用促進に成果を上げた。

茨城空港での制作発表会に伴う集客プロモーションは、当社が韓国映画のロケを地域活性化の核にしようと考えたのが始まりで、茨城県庁や民間企業と話し合い、委員会を発足させて実現させたものだ。当社は委員会の事務局を務め、プロモーションの全体設計、イベントの実施や集客、マスコミ対応などを担当。官民の連携によって茨城空港の会場使用許可やおもてなしイベントの実施がスムーズに運んだ。

どうすれば、地域に人を集めることができるのか。それには、その場に行きたいと思わせ、実際に行動してもらうことが必要だ。この事例のように、行きたいと強く思わせる核となるコンテンツを用意し、民間、行政が一体で事業を推進することが重要となる。今後も地域と一体となって「行きたい」を創り出し、地域活性化の仕組みづくりに貢献していく。

ＪＴＢ商事
地域ブランド向上に寄与

ＪＴＢ商事は、観光・宿泊業関連の商事会社として、宿泊業をサポートする旅館・ホテル商事事業や国内外の土産品をカタログ販売するギフト事業、トラベルグッズを販売する旅行用品事業などを展開する。ギフト事業では、地域振興に貢献する物産販売にも注力。第二マーケティング部企画担当部長の一ノ瀬悟さんに取り組みを語ってもらった。

一ノ瀬 悟さん

□　□

東日本大震災の被災地や風評被害を受けた地域を応援しようと、東北の物産品を積極的に購入する動きが見られた。こうした動きを受けて当社は、〝メイド・イン・東北〟の名産品を集めた「東北まるごとパック」と題したカタログを作成し、昨年7月に販売を開始した。企画にはＪＴＢ東北はもとより、東北経済連合会や東北各県の協力を得ることができた。

各カタログの表紙

東北の地域ごとの特産品を詰め合わせたオリジナルセットを販売。特産品を堪能した後には、実際に東北へ旅行してもらいたいと、各商品には東北のご当地キャラクターのメッセージカードを封入した。販売期間は今年3月までだが、これまでに1万セット以上を販売し好評を得ている。

震災復興に貢献する商品のほか、修学旅行客や団体旅行客に向けて「らくらく道中」という観光土産のカタログ販売や、「たびもの撰華」というカタログギフトの販売を行っている。カタログ制作や商品選定を行う上では、地域、生産者のこだわりに耳を傾けることを大切にしている。こだわりは、おいしさはもちろん、「元祖」「認証」「お土産アカデミー受賞」などさまざま。これらのこだわりを追求した商品を販売しお客さまの好評を得て、地域ブランドの向上にも寄与することを目指している。

また、今後のカタログ制作では、東北まるごとパックを手がけた経験を生かして、ＪＴＢ各社の協力のもと、地域の観光施設や土産店、飲食店などの観光情報を掲載する予定だ。物産販売を通して人々の交流を演出し、さらなる地域活性化に役立てるよう取り組む。

ＪＴＢフォト
ＰＲ用写真の管理を支援

ＪＴＢフォトは、全国の契約カメラマンや海外の提携会社などから写真を預かる国内有数のストックフォトエージェンシーだ。国内外の風景や建造物の写真など約240万点の素材を管理し、旅行会社やマスコミに貸し出している。これらの経験を生かしたのが、地域の観光協会や旅館・ホテルの写真貸し出し業務をサポートする新規事業。新規事業について営業第1部主任の魚見拓也さんに説明してもらった。

魚見 拓也さん

□　□

昨年、本格的に稼働を開始したサイトが「たびフォトサーチ」。観光協会や旅館・ホテルが保有する写真や販促資料などをウェブサイト上にアップすることで、旅行会社やマスコミに対する貸し出しを円滑にするサービスだ。写真データのほかに、施設の客室やバンケットルームの平面図、ＰＤＦ化した販促用チラシや旅行会社向け提案書などもアップできる。現在約130の観光協会や旅館・ホテルがデータを預け、旅行会社を中心に利用者は約500カ所に上っている。

「たびフォトサーチ」のトップ画面

ＰＲ用の写真、販促資料を多数保有する観光協会や旅館・ホテルがこのサービスに登録すれば、旅行会社やパンフレット制作会社などの依頼に応じて画像を選定し、郵送やメールで送付するという手間とコストを削減することができる。同時に、サイトにデータをアップすることで写真や販促資料などが幅広く閲覧されるようになり、ＰＲの効果も高まる。

観光協会や旅館・ホテルは、写真データごと、利用者ごとにダウンロードの制限をかけられるため、不適当なデータ利用を抑えることができる。さらに「誰が」「どの」データを「何」の目的で利用したかをメールで配信するようにしており、ダウンロードの履歴をマーケティングに活用することもできる。また、貴重な紙焼き写真や古い資料をデータ化しサイトにアップすることで、色味の劣化や災害による資料喪失などの対策としても利用価値が高い。

データの登録料金はアップするデータ数により異なるが、1施設当たり年間3万円から利用できる。

ＩＣＳコンベンションデザイン
試験ビジネスで地域活性

ＩＣＳコンベンションデザインは、企業イベントから展示会まであらゆる〝集い〟に対応する総合イベント・コンベンション会社だ。多岐にわたる事業の中で最も新しい分野が試験ビジネス。第5事業部営業1課長の金塚ときわさんに地域活性化にもつながる試験ビジネスの展開について語ってもらった。

試験監督員へのオリエンテーション

□　□

試験ビジネスは、約10年前、認定資格試験に監督員を派遣したことを契機にスタートし、現在では、国家試験を中心に大学入試、各種の認定・検定試験などに広がり、年間取扱件数23試験、受験者数約25万人、売上高約10億円という規模に成長した。試験運営のトータルサポート分野では業界トップ3に入る。

金塚 ときわさん

試験ビジネスにもイベント・コンベンション運営で培った経験とノウハウが生かされている。従来、試験会場は大学、高校などが多かったが、展示場やイベント施設などを使うようにしたのも他社に先駆けた当社ならではの提案。ドームなどのスポーツ競技場のアリーナに会場を設営した試験、イベント施設を常設会場とした試験などをプロデュースしている。地方自治体が所有するイベント施設などへの試験案件の誘致は、地域経済の活性化にもつながっている。

国家試験をはじめとする資格試験の大半は所轄官庁や公益法人によって運営されていたが、公共サービス改革などの動きを受け、運営全体を外部委託する例が増えている。また、試験ビジネスは景気の変動に比較的強いと言われ、今後も伸長が見込まれる分野だ。

国家試験や認定資格試験のほとんどが全国規模で行われているため、試験運営の際、スタッフ派遣やレンタル備品、ケータリング、臨時バスなどの各種の業務手配では、ＪＴＢグループ会社、各地域の企業の協力を得ている。日本全国でクオリティの高いサービスが提供できるよう、地域のパートナー企業・施設との協力の輪を広げ、双方のビジネス拡大を目指していく。

PROSPE　感動のそばに、いつも。JTB
プロスペ ｜ 宿泊施設業務用品の通販

PROSPEは　商品と情報で“最適なおもてなし”をお手伝いをキャッチフレーズに誕生した宿泊施設業務用品の通販です。商品を検索・購入できるだけではなく、お客様にとって有益なコンテンツや機能を搭載しております。下記内容にて一部を案内いたします。

❶ お客様専用マイページ　定期的にご発注いただいている商品は全て簡単な操作でリピートオーダーが行えます。
❷ お得な企画満載　TOPページの「大蔵ざらえ市」や「訳あり商品」バナー等にて特別価格での商品をご提供しております。
❸ メールマガジン　業界情報や運営改善、宿泊プランのヒントになるアイデア、新商品などを定期的に配信しております。

http://prospe.net/
または　プロスペ　検索

会員登録さえすれば簡単発注!
漏れ無く安心!
商品も豊富にご用意しております。

歯ブラシやシャンプーなど消耗品から電化製品まで、
幅広くお取り扱い中!
アウトレット品販売などの企画も随時開催しております!

JTB商事　第一マーケティング部　TEL:03-3513-3520　FAX:03-3513-3610

『たびフォトサーチ』が、
宿泊施設様、観光協会様等の
「経費削減」「営業拡大」をお手伝い。
JTB　感動のそばに、いつも。

『たびフォトサーチ』は旅行会社・マスコミ各社等への写真の貸出・管理を効率化するフォトライブラリーとして開発されました。しかしその機能は、PDF 資料（チラシ・パンフレット等）の UP による情報発信、貸出履歴データベース化によるマーケティング情報収集等、**宿泊施設様・観光協会様等**の営業活動をバックアップする機能を備えています。

〈『たびフォトサーチ』５つの特徴〉
❶ 汎用システムとし開発費が要らず低コストで利用が可能
❷ 常に新鮮な画像情報を提供可能に
→簡易な WEB 登録画面で、画像の登録・変更・削除も簡単スピーディに
❸ 著作権管理にも万全なセキュリティを確保
→全画面ウォーターマーク付、右クリック防止等、万全の不正コピー対策
❹ チラシ、パンフレットや旅行会社様向け販促資料等もPDFでUP可能
→約450社の利用登録会社様に積極的な情報発信が可能
❺ ダウンロード履歴が温存されており、月別・利用者別での検索も可能
→会社別にどんな写真をいつ頃使用しているか把握し、
効率的な営業活動をお手伝い

基本料金：年間30,000円～（税抜）

画像から施設・地域情報まで、旅の素材マルチデータバンク
たびフォトサーチ
http://www.tabiphoto.jp
（株）ＪＴＢフォト　たびフォトサーチ事務局　担当：中島・横山・魚見
TEL：03-3537-8345　FAX：03-3537-8346
E-mail：tabiphoto@jtb-photo.co.jp
JTBフォト